

2015年度
沖縄キリスト教学院大学
一般入学試験問題（前期日程）

国語総合 [選択・記述]

受験上の注意事項

- 1 監督者から試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 試験時間は、9時20分から10時20分までの60分間です。
- 3 この問題は、11ページあります。解答用紙は2種類です。
選択テスト（1～8ページ） …… 解答用紙（マークシート）
記述テスト（9～11ページ） …… 解答用紙（最後のページ）
※ 監督者の指示によりページを確かめて、もし間違いがあるときは交換を申し出てください。
※ 記述テストは、最後のページの解答用紙を切り離して解答してください。
- 4 解答用紙（マークシートとA4サイズの2種類）に、受験番号・氏名を記入してください。
- 5 マークシートの記入方法と取り扱いについて
 - 1) 鉛筆（必ずHBまたはB）を使用する。 ※ シャープペンシルは使用しないこと。
 - 2) 解答カード番号は、4 をぬりつぶす。 受験番号は4桁ぬりつぶす。
 - 3) マークシートは、機械処理します。もし解答記入後、訂正するときは、二重解答と読み取られることのないように、消しゴムで完全に消すこと。 また汚損しないこと。
- 6 問題用紙は持ち帰ってください。

国語総合 「選択テスト」

次の文章を読み、後の問い（問1～問15）に答えなさい。解答はマークシートにマークしなさい。（各4点）

ほとんど知られていないが、日本には「定価」という表記が許されている商品が4つだけ存在する。新聞、雑誌、書籍、音楽用レコード・CDで、そのほかの商品・サービスには、値段はあっても、定まった販売価格は存在しない。例えば、本のカバーにはしっかりと金額が印刷されていて、その意味するところは出版社が販売価格を決め、書店は変更できないということだ。その結果、沖縄本島でも離島でも一年中、24時間まったく同じ値段で販売されている、という事実に気づいてもらえると思う。これを再販維持契約（略して再販）と呼び、自由競争が徹底している経済取引の中で、極めて珍しい特別な取り扱いとして、独占禁止法のなかで定められている。

もちろん、まったく例外がないわけではなく、新聞社の中には学生や学校向けに割引価格を設定したり、書籍の場合には刊行から時間が経った本を安売りする場合もあるし、最初から自由定価本として販売しているものも存在する。これは「弾力運用」と呼ばれ、ここ15年くらい一般化してきた光景だ。あるいは、大学構内にある購買会（大学生協など）では、1割引きで売ってよいことが、法で明記されてもいる。

そうした状況の中で、オンライン書店の最大手アマゾンが「Amazon Student（アマゾン・ステューデント）」と称する、学生向けの会員制プログラム・サービスを開始した。はじめの6カ月は無料、その後は年会費1900円が必要だが、書籍の価格の10%分を次回購入時に使用できるポイントとして還元するもので、実質1割引きで購入できる制度だ。対象は、国内にある大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校の学生とされている。

学生対象であるから、購買会と同じであるとか、リアル書店でも、つたや蔦谷書店（TSUTA YA）のTポイントに始まり、他の書店でもポイントカードやクレジットカードとの連動で、1～3%程度のポイントが付くことが一般的ななか、何が問題なのかとの声もあるようだ。

また、ア再販自体の弾力運用が決まっているのだから、一律に割り引く制度は許容されるべきだし、消費者メリットが大きく、反対は「ためにする議論」だとの厳しい声も聞こえてくる。しかし「なくす」^②で再販の実質を骨抜きするのではなく、その趣旨に鑑みて諾否^③を見えていく必要があるだろう。

書籍の定価販売が定められているのには大きく2つの意味があるといえる。

第1は、読者のアクセス平等性である。通常は、生産者から販売地が遠くなるほど、配達コストから販売価格が高くなる場合が少なくない。あるいは、大量に売れる人口密集地のほうが価格が下がる傾向もある。それからすると、本や雑誌も市街地のほうが安く売れる可能性が高まるが、それでは国内で満遍なく知識や情報が行き渡ることが阻害されかねない。その前提としては、日本においては新聞があまねく普及していることや、書店が相当程度全国にまなく存在し、再販対象の商品がまさに「マスメディア」として実質的に存在していることが重要だ。こうしたマスメディアを通じて、自己の人格形成に資する豊かで多彩な情報を接することができることは、社会にとって大変重要であるといえるだろう。

また、選挙等を通じ政治的・社会的選択をする上でも、十分な情報が容易に入手できる環境は確保される必要がある。すなわち、民主主義社会のための必要条件として、みんなが等しく情報に接することができることが大切になる。したがって、もし「高め」の本を買わされる人がいたとしても、それは民主主義のコストとして市民全員で負担していこうという考え方でもある。

⑤ **イ** 多様性の確保がある。小売店の競争は一般に、価格競争が中心である。そうなる^{とうた}と当然であるが弱肉強食の世界が生まれるわけで、一般に小規模の売り手は淘汰される傾向にある。それは大規模スーパーに押される地方商店街の状況を見ても明らかだ。これは書店の世界にも当然通じる話で、価格競争が起されれば一気に書店の数は減っていくことが想定される。しかも、リアル書店同士の闘いというよりは、ネットVSリアルの争いとなり、その結果、店舗コストが圧倒的に小さいオンライン書店に分があることははっきりしている。その結果、3つのことがいえるだろう。

まず、リアル書店は一気にその数を減らしかねない。それは、私たちが実際に本を手にして購入するという「^{たの}愉しみ」を奪うことになる。しかもそれは単なる感傷的なものではなく、本を能動的にのみ購入するという傾向を強めさせ、まさに今のネット社会の自分と近い考えの心地よい情報にのみアクセスする傾向を、雑誌や書籍にも一気に拡大させることになる。それは多様な言論の世界を狭めるということに他ならない。

次に、現在の委託販売制度にも大きな影響を及ぼすであろう。現在の日本では、書店は取次を通じて本を取り寄せ、陳列し、売れ残った本は返本できる制度を採用している。その結果、小規模の本屋でも、売れ筋以外のさまざまな本を書店に並べることができるのである。こうした、価格競争ではなく品ぞろえで勝負するという、独特の競争方法が書店の棚の多様性を生んでいたわけであり、価格の自由化は買取制を促進させ、その結果、委託販売制度の崩壊は売れ筋中心の品ぞろえを招き、棚の貧困を呼ぶことになるだろう。

そして最後に、自由競争の結果、書店の数が少なくなり、現実的にはアマゾンに象徴される大

手オンライン書店の独り勝ちを認めることで、流通の ウ を生むことになる問題である。それは、書籍マーケットを寡占した書店が扱わない本は、市場には流通しないということを意味する。もちろん、書店がある程度、取り扱い本を選別することは許される。それはまた、書店の特徴につながる場合も少なくない。しかし、オンライン書店は世界を相手に商売しているだけに、さまざまな国の違った事情による販売制限が幾重にも重なり、必要以上の厳しい制約を課す場合も少なくない。実際、日本国内で販売中の本が、アマゾンでは取り扱われていない事例が既に報告されている。すなわち、アマゾン基準（一般にはアメリカ基準）で、日本国内の本の流通・販売がなされる可能性があるということであって、これは出版文化の多様性を大きく損なうことになる。

出版にかかわる事業者は、出版の自由の担い手であるという認識のもと、多様性の維持や

エ の確保を行動基準にもつことが求められている。

（山田健太「メディア時評・デジタル時代の多様性」『琉球新報』二〇一四年七月二二日）

* 原文の小見出しは削除しました。

問1 文中の空欄 ア に適当な言葉を入れなさい。もつとも適切なものを、A～Eから二

つ選び、記号で答えなさい。

（解答番号は1）

- A そもそも
- B しかし
- C すなわち
- D ところで
- E だから

問2 傍線①「ためにする」の意味として最も適切なものを選択せよ。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は2)

- A 多数の人々の利益を保護する
- B ある目的を達しようとする下心があつて行う
- C 正しい主張をダメにする
- D 後ろ向きである
- E 生産的である

問3 傍線②「なしくずし」について、本文で用いられている意味として最も適切なものを選択せよ。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は3)

- A 雪崩のように
- B 積木が崩れるように
- C いっきに
- D 少しずつ
- E 現実に

問4 傍線③「諾否」の読みを選択せよ。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は4)

- A しょうぶ
- B しょうひ
- C じゃくひ
- D だくふ
- E だくひ

問5 なぜ「高め」の本を買う人がいることが「民主主義のコスト」(傍線④)といえるのか。著者の考えに最も近いものを、A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。(解答番号は5)

- A 高価な本を読み知性を高める人がいないと正しい政治的判断が生まれないから
- B 全ての人々が平等に情報にアクセスできることが民主主義社会の条件であるから
- C 大学生・大学院生といった社会的エリートに安く本を提供するため、一般市民が負担を担う必要があるから
- D オンライン書店、リアル書店を問わずに書店を保護するために政府が財政負担をすべきだから
- E 情報が国民に行きわたることが民主主義の条件であり、離島・遠隔地の人々が多少「高め」の本を買わざるを得ないのはしかたがないから

問6 空欄 に入るのに最も適切なものはどれか。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。(解答番号は6)

- A さらに
- B 次に
- C 第2には
- D しかし
- E また

問7 傍線⑤「多様性の確保」を、最も妨げないものは次のうちどれか。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は7)

- A 小規模の売り手
- B 価格競争
- C オンライン書店
- D 書籍マーケットの寡占
- E 自由競争

問8 傍線⑥「本を能動的にのみ購入する」とはどういうことか。もつともふさわしい説明を、A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は8)

- A 休日に町の本屋めぐりをする。
- B 長い時間かけて、棚のいろんな本を一つひとつ手にとってみる。
- C 本屋の新刊本コーナーで、目新しい情報はないかチェックする。
- D 好きな作家の名前をネットで検索し、その作家の本を注文する。
- E 意見の異なる本を数冊買って、比較検討する。

問9 文中の空欄□にあてはまるものとして、もつともふさわしい語句は次のうちどれか。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は9)

- A 単線化
- B 複雑化
- C 多様化
- D 重層化
- E 純化

問 10

空欄 エ

に入るのに最も適切なものはどれか。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は 10)

- A 学生の学ぶ権利
- B 民主主義のコスト
- C リアル書店
- D 消費者の利益
- E アクセス平等性

問 11

この文章を内容的に2つに分けるのであれば、どこでわけるべきか。2つ目の最初の文の書き出しを、A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は 11)

- A そうした状況の中で、オンライン書店の最大手アマゾンが……
- B 書籍の定価販売が定められているには大きく2つの意味が……
- C まず、リアル書店は一気にその数を減らし……
- D 次に、現在の委託販売制度にも大きな影響を及ぼす……
- E そして最後に、自由競争の結果、書店の数が少なくなり……

問 12

オンライン書店のもたらす結果として、最もありそうでないものはどれか。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。

(解答番号は 12)

- A 自分の読みたい本を能動的に買う。
- B 世界中の本がすぐ手にはいる。
- C アメリカの基準で、日本国内の本の流通・販売がなされる。
- D 出版文化の多様性が維持できる。
- E リアル書店の数が減少する。

問 13 現在の委託販売制度において起こりえないものはどれか。A～Eの中から一つ選び、記号で答えなさい。(解答番号は 13)

- A より安い値段で本を提供する。
- B 書店は、売れ残った本を返却する。
- C 売れそうにない本も書架に並べる。
- D 書籍の品揃えを豊富にする。
- E 小規模の本屋が生き残る。

問 14 この評論文の主旨に最も合致するものはどれか。A～Eの中から一つ選び、記号で選びなさい。(解答番号は 14)

- A オンライン書店が増えてくると、便利になり、リアル書店も利益をえる。
- B リアル書店では、読者は本を自分の好みで能動的に選べる。
- C オンライン書店では、アメリカの基準のみが優先され、販売制限が多くなる。
- D 価格の自由化は、委託販売制度を崩壊させ、多様性の維持やアクセス平等性を損なう。
- E 出版にかかわる人たちは、時代にあつたオンライン書店の拡充を促進すべきである。

問 15 この評論文の内容に合致するものはどれか。A～Eの中から一つ選び、記号で選びなさい。(解答番号は 15)

- A アマゾンが始めた学生向け会員制プログラム・サービスは再販の趣旨に反するかもしれない。
- B 民主主義の確保のためには、再販の適用される商品を増やすべきである。
- C これからは、大手の書店によって多くの小規模な書店が廃業に追い込まれるだろう。
- D リアル書店の数が減ったとしても、自由競争の結果であれば仕方がない。
- E 再販制度を見直し、新聞、雑誌、書籍、音楽用レコード・CDは少しでも安く消費者に提供すべきである。

国語総合「記述テスト」

次の文章を読んで、後の問い（問1～問7）に答えなさい。解答は解答用紙に記入しなさい。

コハナ・フチに読んで楽しんでもらえるように探したアイヌ語の本で当時入手できたのは、金成マツ筆録の『アイヌジョジシ^a ユーカラ集』全八巻だけでした。ローマ字の横に、言語学者金田一京助による日本語の対訳がついていました。私は全巻を購入して、何回となく繰り返し読み上げました。

アイヌ語の方を聞くフチは、たいへんおもしろそうに聞いているのに、日本語訳を目で追う私のほうには、ちっともそんな感動は伝わってこないのが不思議です。そのうえ、単語を追ってその意味をフチにたずねていくうち、金田一訳では、言葉が生きていないと感ずるようになりました。^①

その後、私はアイヌ文化や言語、歴史に関する数多くの文献資料を読んだのですが、一読しておどろいたことは、対象に何の感動も共感もない干からびたような記述であるばかりか、明らかに偏見、誤ちに満ち満ちていたのです。当時の学者や研究者たちは、アイヌ語を単なる研究材料とみなし、アイヌ文化は博物館にシユウシユウ保存する対象としてしかとらえていないようでした。

一般的に、近代的な学問の方法は、自分（人間・主体）と相手（自然・X）とを真つ二つに切り離して研究するものです。相手を観察する自分の地位はそのまま、相手（対象）をできるだけ自分から突き放して観察します。同情や共感^cは禁物です。そして対象を限りなく分割^dし、閉じ込め、分析していきます。

こういう方法のみが客観的に正しい事象をとらえるものであり、科学的な方法だとされています。相手が、人間であっても動物であっても同様です。たとえば動物行動学のような研究においても、観察する動物の中に人間にそっくりなところを見つけたり、共感したり共鳴することは「擬人化」であるとして、厳しく禁じられています。

物事をできる限り細かい部分に切り分け、その細部を専門的に研究し、それによって得られた結果を全体に普遍化して考えることが、近代科学の方法です。私はこのようなもの見方に大き

な疑問を抱きました。このような態度で学問をすればするほど、自分の内なる自然がズタズタに傷めつけられていくような感覚を味わうことがたびたびあります。自然のいのちを切り刻み、殺傷していくような研究方法は、どこか間違っていると思えます。

実際、人類学や動物学の分野で、これまで予断と偏見に満ちていた異民族の文化研究や動物行動の研究が、対象への共感と共鳴によって新しい見方や世界が発見され、ジュウライのものがくつがえされることがしばしばあります。

本当の学問や研究は、まずは、どんな予断や偏見も持たずにはじめることであり、そして実際に現地に行き、共に暮らしてこそ、真実に近づくことができると考えられます。

② 私はフチとアイヌ語を語りあうなかで、語り手と聞き手がひとつになることから生まれる感動をしばしば味わいました。このような一体感^③は、人間同士にあるばかりではありません。人間と動物の間にも、あるいは自然の森羅万象においても、共感や交流は起こりえるのです。アイヌ語を通して私が発見した世界は、まさにそのようなものでした。

アイヌ語を通じてアイヌ文化を学び知ることは、これまであまりにも切り離されてきた人間と自然の関係を、もう一度新しく見直すことだと思えるのです。

(野上ふさ子『アイヌ語の贈り物』新泉社 二〇一二年、より)

問1 文中の傍線 a s e の、漢字には読み方をカタカナで記し、カタカナには漢字を記しなさい。

問2 文中の傍線①「金田一訳では、言葉が生きていないと感じるようになりました」で、筆者は、なぜそのような気持ちになったのか。本文中から五十字以内(句読点含む)で抜き出しなさい。

問3 文中の

X

 に、「主体」の対義語を記しなさい。

問4 文中の傍線②「フチとアイヌ語を語りあうなかで、語り手と聞き手がひとつになることから生まれる感動をしばしば味わいました。このような一体感は、人間同士にあるばかりではありません」で、筆者は、何ができると考えましたか。もつとも総括的に述べた箇所を、本文中から四十字以内(句読点含む)で抜き出しなさい。

問5 文中の傍線③「森羅万象」の意味について、簡潔に説明しなさい。

問6 筆者は近代科学の方法について、どのように感じていますか。文中の言葉を用いて、簡潔に記しなさい。

問7 筆者がアイヌ語を通して発見した世界について、本文中の言葉を用いて、簡潔に記しなさい。

